

答 学校にもよるが車椅子マラソン・バスケットボールの選手などの競技見学や体験を行う。また藍染め・和太鼓・茶道等の日本文化の体験を実施する。

問 学校給食センター管理事務の維持管理委託料が減額となった理由は。

答 施設稼働3年目となり、業務の効率化や施設管理運営の安定化により労務負担等が相当程度軽減された事が積算に影響している。

問 中央図書館の管理事務の清掃委託料が減額されているが業務への影響はないか。

答 従業員の最低賃金は確保されており、業務は効率的・計画的に行われている。

問 財務会計システム改良委託料の増額理由は。

答 令和2年4月1日から会計年度任用職員制度が開始されることで財務会計システムを改修する必要が生じるため。

問 積立金における都市施設整備基金積立金2億円の増額補正の理由は。

答 現在策定中の個別施設計画による公共施設の維持管理コストや福生駅西口再開発に伴う公共施設整備など、当該基金活用への需要が見込まれるため。

◇市営競技場人工芝敷設工事請負契約
問 事業の総合評価で価

格評価と技術評価を7対3の割合にする理由は。答 国土交通省のマニュアルを基に、近隣市の状況及び競争による経済的メリットや技術評価による工物品質の確保が可能な比率を検討し決定した。



▲日橋公園・みずくらいど公園を現地視察

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め6回開催されました。

議会改革に関する協議会から～新たな取り組み～

傍聴者や市民の方々によりわかりやすい議会となるよう、平成30年度福生市一般会計決算審査特別委員会の質疑の方法について、一問一答方式の考え方を取り入れ、新たな質疑の方法として試行実施しました。今後も、より良い福生市議会を目指し、全議員で議会改革に関する様々な事項について協議していきます。

特別委員会活動から…

横田基地対策特別委員会

9月24日に委員会が開催され、3件の議題について協議しました。主な内容は次のとおりです。

1 横田基地日米友好祭について
9月14日(土)及び15日(日)の2日間にわたって開催された日米友好祭について、次のような報告がありました。

①2日間合計の入場者数は、14万人であった(前年度は14万5千人)。



▲日米友好祭(米空軍第374空輸航空団フェイスブックより)

②航空機の展示や各種露店の設置、特設ステージでのバンド演奏等が行われた。また、陸上自衛隊第一空挺団による空挺降下の展示や米軍機の飛行展示も行われた。花火は、15日の夜に打ち上げられた。③8月20日に、友好祭における安全確保等について、横田基地等に対して

要請を行った。また、来場者向けに、市ホームページで公共交通機関の利用や牛浜駅以外の利用について周知を図った。

2 横田基地に関する情報等について
6月22日から9月24日までの報告がありました。主な内容は次のとおりです。

①7月3日深夜に、米国立記念祝賀行事において花火が打ち上げられた。

②7月16日、17日に、陸上自衛隊員約100名が、横田基地で米軍C-119輸送機に乗り、大分県にある日出生台演習場で空挺降下訓練を実施した。

③7月19日に、フレンドシップパークで横田基地の有志による公園清掃等のボランティア活動が行われ、15名の参加があった。

④7月20日に、横田基地で航空機空中衝突防止会議が開催された。

⑤7月24日午後、基地内警戒態勢の強化訓練が行われた。航空機の運用はなかったが、PAS等が使用された。

⑥7月30日、31日に事前の情報提供がなく、人員降下訓練が行われた。

⑦8月5日から今年の秋までの予定で、グローパーホーク4機と人員約80

名が、横田基地に一時展開している。

⑧8月19日から21日の間、サムライ即応監査という、有事における即応態勢の維持強化のための訓練が行われた。

⑨8月20日から23日の間、横田基地で、日米施設部隊による共同の滑走路被害復旧訓練が行われた。

⑩9月4日、5日に、横田基地で、日米施設部隊による共同の消防訓練が行われた。

討論

●平成30年度福生市一般会計決算認定について

【反対】市民の生活を守り、地域振興のため、福生市の財政力をもっと積極的に活用すべきであったこと、市民の暮らしを守る防波堤になり得ていないこと、少子化及び人口減少に対する有効な対策が極めて不十分であったこと、有識者もが乗れる市内循環バスや自転車駐輪場を無料に戻すことなどの施策が取り入れられなかったこと、横田基地への対応などの問題点があることから、本決算に反対する。

【賛成】「子育てするならふっさ」のスローガンのもと、積極的な定住化施策への取り組みや、子育て世代包括支援センター事業などの組織を超えた連携が図られており、市民生活の向上を目的とした数々の施策が実現されたこと。また、財源確保に対する努力や、財務書類から得られる数値等を有効に活用し、福生市が直面する諸課題についても的確に対処していることから、本決算に賛成である。

【賛成】平成30年度は、受益者負担の適正化が行われるなど、公会計制度改革が深化した年であった。

また、緊急を要する小中学校ブロック塀等改修工事や、次世代につながる子育て支援施策、教育施策などが積極的に推進され、老朽化した公共施設の計画的更

望事項等について協議しました。要望事項は、交付金の増額、対象資産の範囲の拡大・拡充など、全4項目です。

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

●不採択
○玉川上水緑地日光橋公園及び水喰土公園の整備事業の見直しを求める陳情書(1・7号)

(不採択理由) 両公園は、防災上の避難における空白地域をなくすため、既に一時避難場所に指定されており、また、周辺住民の安全のための整備については、防災強化の観点から大変重要であり、意に沿いない。

【賛成】新・統廃合・長寿命化に備えるための基金への積み立ては、今後の財政需要から鑑みて、的確に判断したと評価するものであることから、本決算に賛成する。

【賛成】まちづくりにおいては、市民の声を活かすことが重要であるが、新たな取り組みとして「市民ワールドカフェ」や「まちづくりワークショップ」が実施され高く評価する。

【賛成】また、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期からの包括的な支援体制をいち早く整えたこと、新入学児童・生徒学用品扶助費等の充実など、子ども一人一人に寄り添う施策の取り組みが実施されたことから、本決算に賛成である。

【賛成】弱い人たちを守りたいという立場から次の3点について確認した。
1 点目の市民の暮らしが豊かになる取り組みについては、扶助費など、市民に引き合わせた取り組みを行っていること。
2 点目の定住化対策については、子育て世代包括支援センター事業の実施について。
3 点目の不登校対策については、成果とは「子どもに寄り添えること」ということ。

以上のことを確認し、本決算に賛成する。

そのほか次の議案等に対しても討論がありました。

●平成30年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
●玉川上水緑地日光橋公園及び水喰土公園の整備事業の見直しを求める陳情書

編集後記

相次ぐ災害で被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

10月1日より消費税が10%になりました。今回の消費税引き上げに合わせ軽減税率が初めて導入されており、「酒類と外食を除く飲食料品」と、「定期購読契約が結ばれた週2回以上発行される新聞」に限って、税率を8%に据え置きとなっております。

更には景気対策としてキャッシュレス決済によるポイント還元などもあります。カード決済で支払額を減らせる場合があるとのこと。

福生市では、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的として、プレミアム付商品券の販売を行っております。これは今年の3月議会で補正予算を審議したことで事業が決定しました。詳しくは市ホームページ等でご確認ください。

市議会では、すべて市民の暮らしに関わることを審議しています。福生市に暮らす皆様の生活がより良いものになるよう引き続きがんばってまいります。